

【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン

北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課

- ■ 北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする
- ■ ■ ■ ■ メールマガジン♪
- ■ ■ ■ ■ 研修会やイベントの開催情報や
- ■ ■ ■ ■ 全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、
- ■ ■ ■ ■ 定住・起業の支援情報などを発信します。

\*\*\*\*\*

## ■目次

- 【1】西塔さん連載企画スタート！第1回「活動報告会は必要？」文 西塔大海さん（さとのぼ大学講師）
- 【2】地域おこし協力隊研修もやります！第7回ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会の開催
- 【3】オールほっかいどうチャレンジピッチの開催
- 【4】第6回北海道とつながるカフェ「キャンプ×星空×ワーケーション」の開催
- 【5】地域とつながるひみつキッチン「遂に登場！関係人口のパイオニアが語る！～ローカルとの“幸せな”関わり方～」の開催
- 【6】「地域おこし協力隊全国オンラインイベント」の開催

\*\*\*\*\*

- 【1】西塔さん連載企画スタート！第1回「活動報告会は必要？」文 西塔大海さん（さとのぼ大学講師）

前回のメールマガジンでお知らせしましたが、地域で活躍する人材の育成を目指す「さとのぼ大学」の講師で、全国各地の地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家である、西塔大海（さいとうもとみ）さんの連載企画がスタートします。

### ■西塔さん連載企画：第1回「活動報告会は必要？」文 西塔大海さん（さとのぼ大学講師）

年度末ですね。皆さんはこの時期、協力隊の活動報告会を行なっているでしょうか？

「ちょっと面倒くさそう」という声も聞こえてきそうですが、報告会はやった方がお得です！というのが今回のお話です。

<理由① まとめるチャンスは少ない>

日々、精一杯活動していると、目の前の仕事に流されて成果を書きまとめる機会はありません。「1年目だし、コロナ禍だし、成果もないし何も書けない!!」と思われる方もいるでしょう。ところが、いざ、10分間の発表資料をつくらうとすると、アレもコレもと溢れ出してしまふから不思議です。自分の頭の整理にもなりますし、講演依頼にも応えられるようになり仕事づくりに生きてきます。

<理由② 周囲は意外にあなたを知らない>

隊員自身は移住の動機や活動内容を聞かれる機会が多いため、「自分のことは十分に伝わっている」と思いがちです。ところが、伝えることと、伝わることにはギャップがあります。活動の全体像は意外に知られていないものです。

<理由③ 感謝を伝え合う>

報告会、実は、隊員から職員へのお礼を伝える場です。同時に職員・関係者から隊員への感謝と期待を伝える機会でもあります。

特に、隊員は「本当に自分のやっていることは意味があるのか」と不安な方も多いので、この感謝の言葉によってじんわりと自己重要感を増し、定住意識をつくっていきます。

受け入れ側にとっても、普段のコミュニケーション不足を解消し、活動サポートが驚くほど楽になることでしょう。

どうでしょう？少しだけ、やってみたくありませんか？

<職員の皆様へ>

ポイントは小さく開催することです。コロナ禍ですので、招待制で役場職員と関係者10人～20人のみ聴講とし、役場の会議室で1時間の開催で十分です。ただ、直後1時間分を雑談用に場所を空けておきます。ちなみに、ムリにオンライン配信をすると開催が重たくなりすぎます。

そして、報告会は「日頃の活動に感謝し、エールを送る会」とアナウンスすると良いでしょう。

市町村長や財政部署、議員も誘っておくと3月議会も有利になります。お試しください。

○さとのぼ大学 <https://satonova.org/prospective/>

○西塔さん Facebook <https://www.facebook.com/saito.motomi>

## 【2】地域おこし協力隊研修もやります！第7回ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会の開催

道では、道内の集落対策の促進に向けて、地域づくりや集落対策に取り組む関係者間の情報共有と連携の強化、ネットワークづくりを図るため「ほっかいどう元気なふるさとづくり交流大会」を開催します！

第7回目は、「ポストコロナを見据えた地域の活性化」をテーマとして、地域活性化を担う人づくりや交流促進、活躍の場づくりに着目した内容で実施します！

また、集落対策をはじめ地域活性化に大きな役割を担っている地域おこし協力隊の活動支援に向けたショート研修会も実施します！ぜひ、ご参加ください。

(1) 日時：令和4年(2022年)2月16日(水) 13:00～

(2) 開催方法：オンライン開催 (Zoom)

(3) 申込方法・詳細：2月7日(月)までに下記 URL よりお申込みください

[https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/shuuraku/R3\\_kouryukai.html](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/shuuraku/R3_kouryukai.html)

(4) 主な内容：①本メールマガジンに連載いただいている西塔さんから「人口急減×感染症時代の地域づくり 知っておきたい5つのポイント」について講演。

②芽室町元地域おこし協力隊である及川さんから共同で設立した「NPO 法人 Qucurcus (ククルクス)」の事業展開の発表・意見交換

③相談内容を専門としている有識者の方(野口さんも参加します)に相談できる個別相談会(定員30名)

④交流大会前の11時から、「地域おこし協力隊の活動支援に向けたショート研修会」を開催！地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員の野口さんから、地域おこし協力隊の情報提供、活動支援・サポートについて説明

※詳細は上記 URL からホームページをご覧ください！

## 【3】オールほっかいどうチャレンジピッチの開催

北海道には、地域の魅力やポテンシャルを活かし、アイデアを組み合わせ、様々な挑戦をしている・挑戦しようとしている「チャレンジャー」がたくさんいます。北海道庁では、道内各地のそうした方々を支援するとともに、活動の推進に資するための業種・地域を越えたネットワークづくりに向け、今年度、各地域で様々な取組を進めている若者や関係者が参加する「振興局版ほっかいどうチャレンジピッチ」を14振興局で開催してきました。

この度、各地での開催を踏まえ、道内で広く地域づくりに関わる関係者が参加し、プレゼンやトークイベント、また様々な交流イベントを通じて、多様で広域的な連携や取組のレベルアップにつなげるための「オールほっかいどうチャレンジピッチ」と題した初の全道交流会をオンライン開催しますので、ぜひ、ご参加ください！

(1) 開催日：令和4年(2022年)2月4日(金)13:00～18:30

(2) 視聴方法：オンライン視聴(Zoom)※視聴無料(上限300名)

○申込フォームはこちら <https://www.har.p.jp/VQBRPapv>

(3) プログラム

○第1部(13:00～16:30)

「フューチャーセッション」チャレンジャーのプレゼンと参加者間のグループトーク

○第2部(17:00～18:30)

①「高校生プレゼンテーション」(17:00～17:30)

「地域づくり」を学ぶ高校生のプレゼン(北海道八雲高等学校・北海道夕張高等学校)

②「トークセッション ～人・企業とのつながりや支援の活用～」(17:30～18:30)

大地のりんご 道山マミ氏 × (株)ACT NOW 穴田ゆか氏 × (株)haku 菊地辰徳氏

## 【4】第6回北海道とつながるカフェ「キャンプ×星空×ワーケーション」の開催

道では、道内各地で活躍する移住の先輩や、北海道にゆかりのある方々をゲストとしてお招きし、自分らしく働き、休日を楽しむ、北海道暮らしの魅力をお届けするイベント「北海道とつながるカフェ」を全部で7回開催します。

第6回目は、「キャンプ×星空×ワーケーション」をテーマに、道南・函館エリアをフォーカス！函館ゆかりのゲストとして、北海道オートキャンプ協会理事として活躍する「星 昌宏」さんと、社会福祉法人に勤務しながら北海道ならではのキャンプを実践している「小鹿 憲明」さんをお招きし、「北海道の冬キャンプ」、「道南でおすすめの家族キャンプスポット」、「ワーケーションの魅力」などを紹

介いただくほか、函館市在住の移住の先輩から、リアルな北海道暮らしをお話しいたきます！  
皆様の活動のご参考となることもありますので、ご興味のある方はご参加ください！

- (1) 日時：令和4年（2022年）1月29日（土）13:30～15:00
- (2) 申込方法：北海道とつながるカフェホームページから1月28日（金）15:00までに事前予約  
URL：<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/ijukouryuu/tsunagarucafe.html>
- (3) 実施方法：Web会議アプリ「Zoom」を活用したオンライン開催（無料）  
※これまでの開催模様をアーカイブ配信（YouTube）していますので、ぜひ、ご視聴ください。  
URL：<http://www.youtube.com/channel/UC60b1iVo9mWmTpfcgq6AG4w>  
※最終回の第7回は、2月19日（土）に開催を予定しております。開催が決定次第「北海道とつながるカフェホームページ」でお知らせします

【5】地域とつながるひみつキッチン「遂に登場！関係人口のパイオニアが語る！～ローカルとの“幸せな”関わり方～」の開催

「地域とつながる。ひみつキッチン」では、道内における関係人口の拡大に向け、関係人口の提唱者であり、SDGs マガジン『ソトコト』編集長の指出一正氏をゲストに迎え、地域との楽しい関わり方などについてお話いただくオンラインイベントを開催します！

誰でも参加可能ですので、ぜひご参加ください！

- (1) 日 時：令和4年（2022年）1月29日（土）16:30～17:30
- (2) ゲ ス ト：指出一正（SDGs マガジン『ソトコト』編集長）
- (3) テ ー マ：関係人口のつくり方～わたしたちはローカルで幸せを見つける～
- (4) 形 式：チャットでゲストに質問ができる Zoom（事前申込）
- (5) 申込方法：次のリンクより、必要事項を入力の上、お申込ください。  
<https://hokkaido-kankei.doorkeeper.jp/events/132033>
- (6) 申込期限：令和4年（2022年）1月28日（金）16時まで
- (7) 備 考：Zoom で参加頂いた方の中から抽選で、トークに関係する地域にちなんだ商品をプレゼントします。  
また、当日はYouTube（申込不要）によるライブ配信も行います。  
[https://www.youtube.com/watch?v=Mmw-rf\\_3tl8](https://www.youtube.com/watch?v=Mmw-rf_3tl8)

【6】「地域おこし協力隊全国オンラインイベント」の開催

総務省では、地域おこし協力隊について効果的に情報発信を行い、地域おこし協力隊制度について広くアピールするとともに、地域おこし協力隊員、隊員 OBOG、受入自治体関係者などの情報交換の機会を創出するため、平成26年度から「地域おこし協力隊全国サミット」を開催しています。

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大により、昨年度に引き続きオンラインで次のとおり開催されますので、ぜひ、ご視聴ください！

- 第1回：令和4年1月22日（土）13:00～  
テーマ：「知っておきたい地域おこし協力隊のトリセツ」  
対象：一般向け（地域おこし協力隊検討者向け）  
※下記特設サイトからアーカイブ配信がご覧になれます
- 第2回：令和4年2月12日（土）13:00～  
テーマ：「地域おこし協力隊から見る、地域での女性活躍」  
対象：女性向け（一般・協力隊関係者向け）
- 第3回：令和4年3月6日（日）13:00～  
テーマ：「地域おこし協力隊と地域の未来」  
対象：地域おこし協力隊（現役・OBOG向け）
- 参加申込・詳細：「地域おこし協力隊全国オンラインイベント」特設サイト  
<https://www.chiikiokoshitai.jp/>からお申し込みください

<お願い>

北海道地域おこし協力隊メールマガジンでは、市町村、地域おこし協力隊など関係者の皆さんからの掲載記事を募集しています。

道内で活動中の皆さんの取り組み紹介でも構いません。他地域の皆様の取組が情報共有、また様々な連携に繋がっていくものと考えていますので、メールマガジンの積極的な活用をお願いします

